

2016年3月期 第2四半期 決算説明会



ロータリースポーツコンセプト「RX-VISION」
(東京モーターショー2015 出品車両)

マツダ株式会社
2015年11月5日

1

本日の説明内容



- 総括
- 2016年3月期 第2四半期累計実績
- 2016年3月期 通期見通し
- 主要施策の進捗状況
- まとめ

2



総括

3

総括（1） - 第2四半期累計実績



- グローバル販売台数は、対前年14%増の76万4千台
上期として過去最高の販売実績
 - 新型Mazda2/デミオのグローバルでの本格販売に加え、
新型CX-3及び新型MX-5/ロードスター導入による台数貢献
 - Mazda6/アテンザ、CX-5の商品改良モデルも好調な
販売を継続
- 売上高は1兆7,005億円、営業利益は1,259億円、
当期純利益は883億円
- 中間配当15円（年間配当は30円の予定）

4

総括（2） - 通期見通し



- グローバル販売台数は、期初計画を2万5千台上回る
151万5千台に上方修正
- 営業利益は2,300億円、当期純利益は1,550億円に修正
- 国内外の主要生産拠点の稼働を向上、グローバルでの販売
拡大をサポート
 - クロスオーバー系モデルの需要増に対応し、タイのAAT工場
で新型CX-3の生産を開始
- 新型モデル（GEN1）の拡充及び、SKYACTIV技術と
デザインの進化を着実に推進
- 次世代商品に向けた技術開発（GEN2以降）の本格化
- 東京MSで「マツダ 越 KOERU」、「RX-VISION」を公開

5



2016年3月期 第2四半期累計実績

6

2016年3月期 財務指標



(億円)	第2四半期累計		対前年 増/(減)		対期初公表
	2015年 3月期	2016年 3月期	増/(減)		増/(減)
			金額	YOY(%)	金額
売上高	14,539	17,005	2,466	17%	1,005
営業利益	1,040	1,259	219	21%	309
経常利益	1,071	1,211	140	13%	211
税引前利益	1,070	1,163	93	9%	213
当期純利益	933	883	(50)	(5)%	283
フリーC/F	194	933			
売上高営業利益率	7.2%	7.4%	0.2pts		1.5pts
EPS (円)	156.1	147.7	(8.4)		47.3
為替レート (円)					
USDドル	103	122	19		2
ユーロ	139	135	(4)		5

7

グローバル販売台数



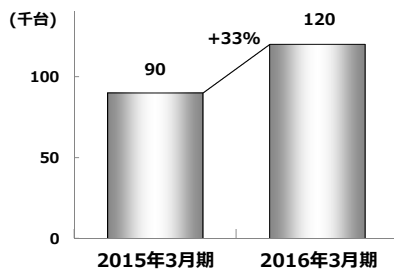
(千台)	第2四半期累計		対前年 増/(減)		対期初公表
	2015年 3月期	2016年 3月期	増/(減)		増/(減)
			台数	YOY(%)	台数
グローバル販売台数					
日本	90	120	30	33%	(6)
北米	226	233	7	3%	(3)
欧州	114	124	10	8%	10
中国	94	109	15	16%	10
その他市場	145	178	33	24%	18
合計	669	764	95	14%	29
<内訳>					
米国	163	164	1	0%	(3)
オーストラリア	49	58	9	17%	2
ASEAN	37	46	9	22%	6

8

日本



第2四半期累計 販売台数



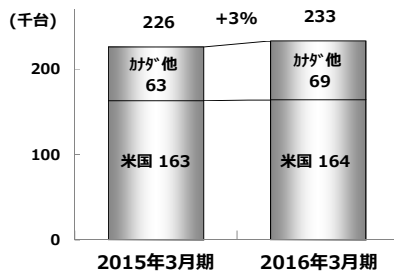
- 販売台数は、対前年33%増の12万台
- 需要が前年を下回るなかで販売を伸ばし、シェアは対前年+1.5ptsの5.2%。登録車シェアは対前年+2.4ptsの6.8%
- 新型デミオ、新型CX-3に加え、新型ロードスターの販売も好調に推移

9

北米



第2四半期累計 販売台数



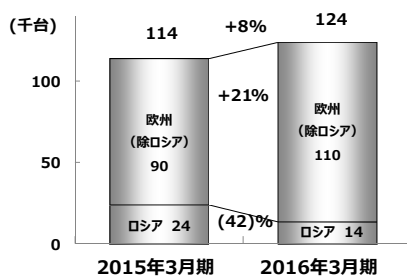
- 販売台数は、対前年3%増の23万3千台
- 米国: 前年並みの16万4千台
 - CX-5、Mazda6の商品改良モデルが販売好調、ネットレバニュー(実売価格)が向上
 - 新型MX-5、新型CX-3の導入
 - 正価販売方針を継続
- メキシコ: 対前年37%増の2万7千台
 - Mazda3及びCX-5の販売が好調
 - 過去最高の販売台数とシェアを達成

10

欧州



第2四半期累計 販売台数



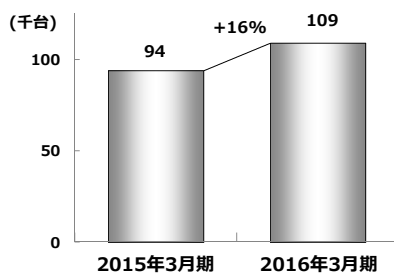
- 販売台数は、対前年8%増の12万4千台
- 新型Mazda2及び新型CX-3が販売を牽引
- ロシアを除く欧州販売は、対前年21%増の11万台
 - ドイツ:対前年11%増の3万台
 - 英国:対前年23%増の2万3千台
- ロシアは需要縮小とルーブル安の影響で、対前年42%減の1万4千台

11

中国



第2四半期累計 販売台数



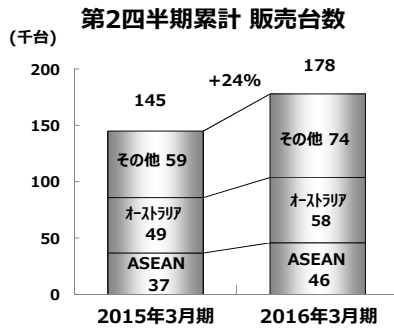
- 販売台数は、対前年16%増の10万9千台
- 景気減速で需要低迷するも、8カ月連続で対前年で増加
- SKYACTIV搭載車が販売に貢献
 - Mazda3の販売が引き続き好調
 - CX-5の商品改良モデル、Mazda6も販売に貢献

12

その他市場



- 販売台数は、対前年24%増の17万8千台
- オーストラリア:対前年17%増の5万8千台、シェア9.9%
 - メーカー別販売で2位
 - CX-5はセグメント販売台数1位
 - 新型CX-3も販売好調
- ASEAN:対前年22%増の4万6千台
 - タイ、インドネシアの需要減の中、対前年で増加
 - ベトナム、マレーシアが過去最高の販売台数
- その他市場:サウジアラビア、チリ、コロンビアが過去最高の販売台数



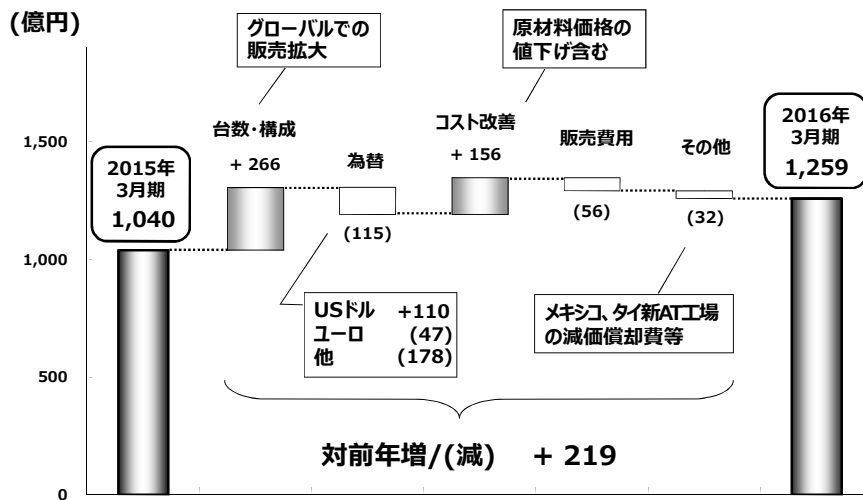
13

営業利益変動



2016年3月期 第2四半期累計 対前年比較

□ 改善
□ (悪化)



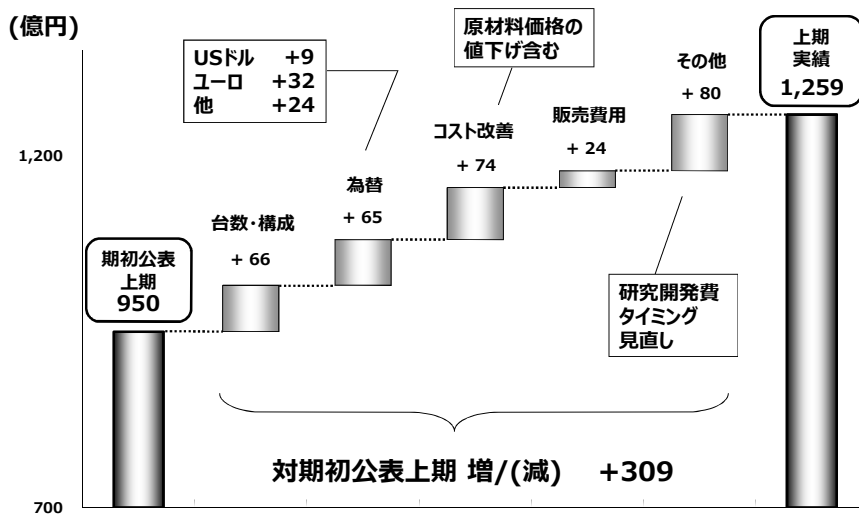
14

営業利益変動



2016年3月期 第2四半期累計 対期初公表比較

□ 改善
□ (悪化)



15



2016年3月期 通期見通し

16

グローバル販売台数



(千台)	2016年3月期			対前年 増/(減)	対期初公表 増/(減)
	上期	下期	通期		
グローバル販売台数				YOY(%)	台数
日本	120	114	234	4%	(6)
北米	233	214	447	5%	(2)
欧州	124	131	255	11%	15
中国	109	111	220	3%	0
その他市場	178	181	359	18%	18
合計	764	751	1,515	8%	25
<内訳>					
米国	164	153	317	4%	(3)
オーストラリア	58	57	115	14%	0
ASEAN	46	49	95	24%	4

17

2016年3月期財務指標



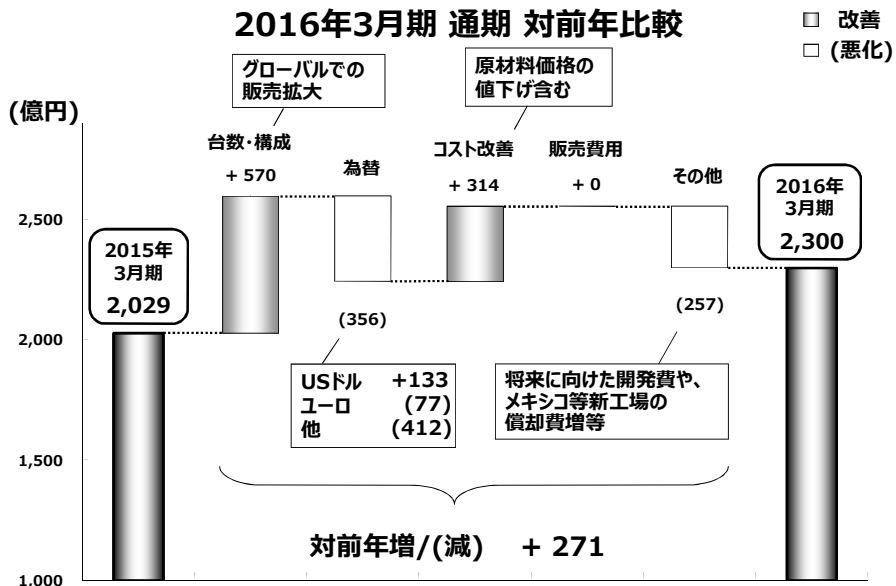
(億円)	2016年3月期			対前年 増/(減)	対期初公表 増/(減)
	上期	下期	通期		
売上高	17,005	16,695	33,700	3,361	1,200
営業利益	1,259	1,041	2,300	271	200
経常利益	1,211	1,089	2,300	174	150
税引前利益	1,163	1,037	2,200	107	150
当期純利益	883	667	1,550	(38)	150
売上高営業利益率	7.4%	6.2%	6.8%	0.1pts	0.3pts
EPS (円)	147.7	111.6	259.3	(6.3)	25.1
為替レート (円)					
USD	122	120	121	11	1
ユーロ	135	135	135	(4)	5

18

営業利益変動



2016年3月期 通期 対前年比較

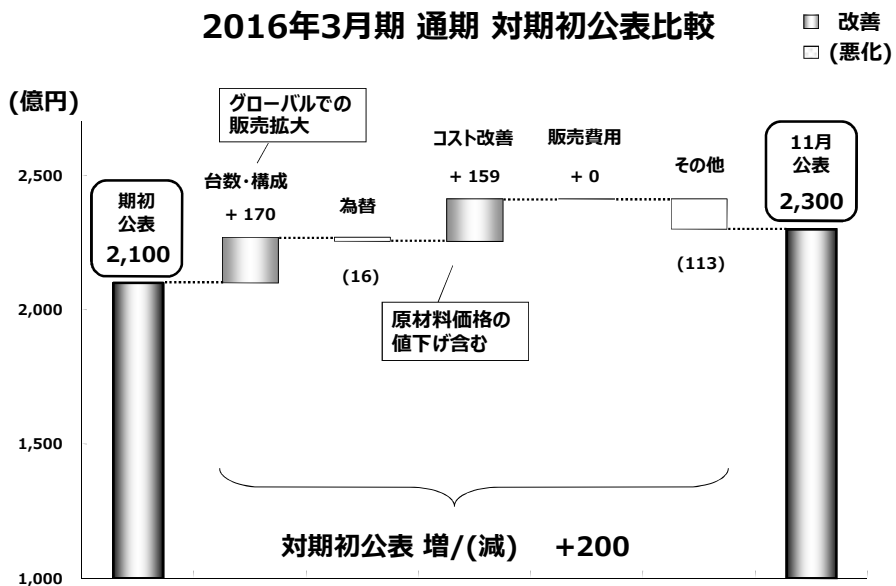


19

営業利益変動



2016年3月期 通期 対期初公表比較



20



主要施策の進捗状況

21

主要施策の進捗状況 (1)



■ SKYACTIVによるビジネス革新

【SKYACTIVモデルの拡充と継続的進化】

- 新型CX-3、新型MX-5/ロードスターをグローバル投入
- 新型CX-9の公開(11月 ロサンゼルス)
- Mazda6/アテンザ、CX-5の商品改良モデルを投入
- 「i-ACTIV AWD」や「i-ACTIVSENSE」など先進/安全技術の進化と投入拡大

【グローバル販売・ネットワーク強化への取組みを加速】

- 販売を拡大しつつ、商品改良モデルで、インセンティブを抑制し、ネットレバニュー(実売価格)を改善するなど、正価販売を継続
- 中古車残価もトップレベルで推移
- ブランドコミュニケーション/カスタマーケア強化策を展開

22

■ グローバル生産体制の再構築

- 販売拡大に対応し、タイのAAT工場では新型CX-3を、
新パワートレイン工場(MPMT)ではエンジンを生産開始

■ グローバルアライアンス

- メキシコ工場では、トヨタ社向け小型車の生産を開始
- 本社工場では、フィアット・クライスラー社向けスポーツカーの
生産を予定

■ 財務基盤強化は計画通り進捗

- 持続的成長に向けた投資は維持しつつ、自己資本を充実
キャッシュフロー創出力も向上

まとめ

【第2四半期累計実績】

- グローバル販売台数は76万4千台と対前年14%増
- SKYACTIVモデルの拡充および継続的進化により、台数増加とネットレベニューの向上に貢献
- 営業利益1,259億円、当期純利益883億円と計画を上回る進捗

【通期見通し】

- グローバル販売台数は、期初計画を2万5千台上回る151万5千台に上方修正
- 営業利益は2,300億円、当期純利益は1,550億円に修正
- 新型SKYACTIV GEN1の拡充と進化、次世代商品の技術開発、国内外生産体制の強化やグローバルアライアンスなど、構造改革の主要施策を着実に推進

25



mazda

26



添付

27

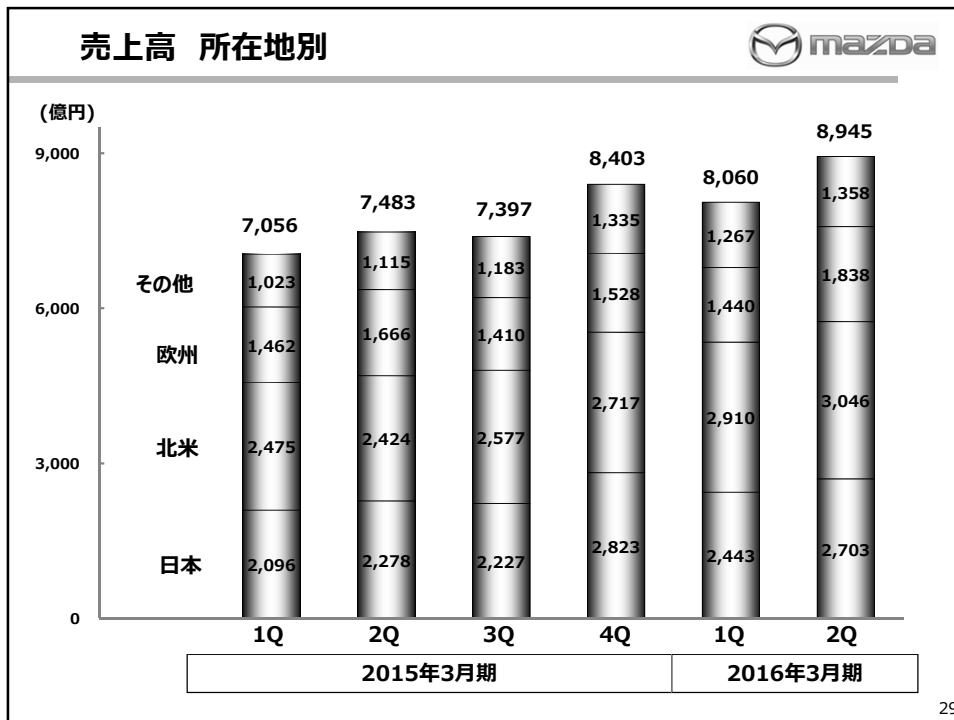
キャッシュフロー及び純有利子負債



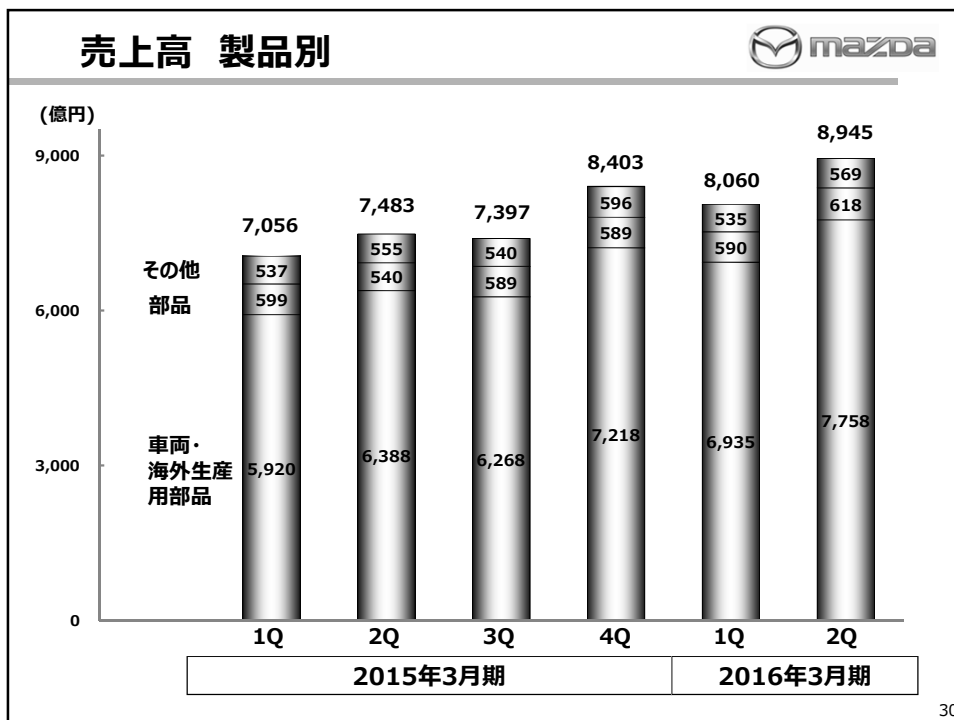
(億円)	2016年3月期			対前期末 改善/(悪化)
	第1四半期	第2四半期	累計	
キャッシュフロー				
- 営業	630	777	1,407	-
- 投資	(265)	(209)	(474)	-
- フリーC/F	365	568	933	-
現金及び現金同等物	5,052	5,616	5,616	325
純有利子負債	1,479	994	994	725
純有利子負債 自己資本比率	16 / 12*%	11 / 7*%	11 / 7*%	9 / 8* pts
自己資本比率	36 / 38*%	38 / 39*%	38 / 39*%	3 / 2* pts

* 劣後特約付ローンの資本性考慮後

28



29

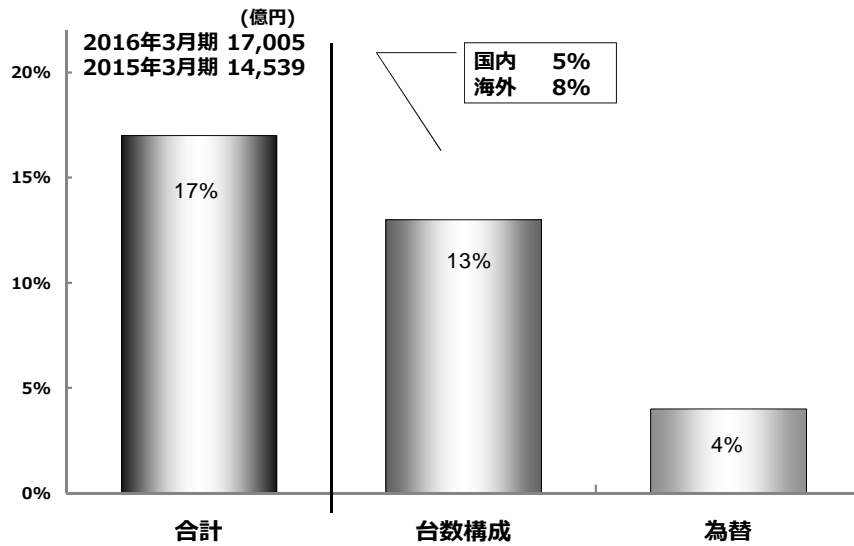


30

売上高変動内訳



2016年3月期 第2四半期累計 対前年比較

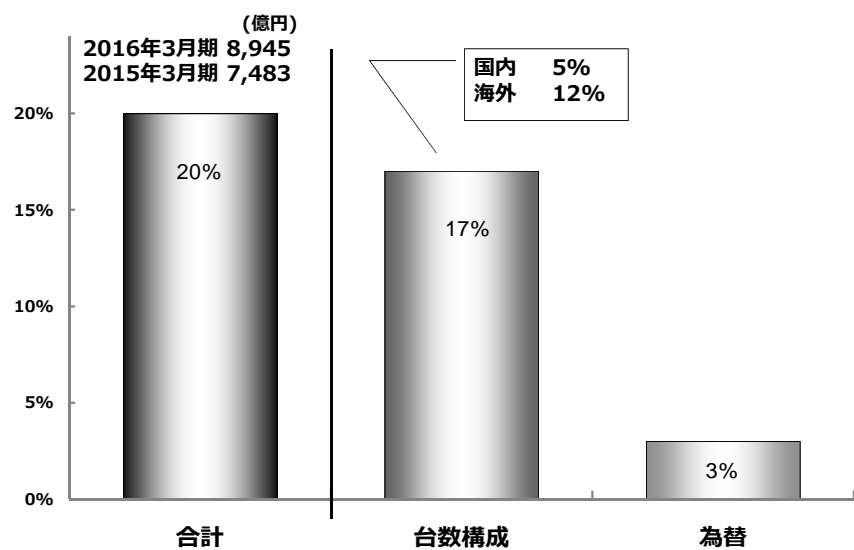


31

売上高変動内訳



2016年3月期 第2四半期 対前年比較



32

2016年3月期財務指標



(億円)	第2四半期		対前年 増/(減)
	2015年 3月期	2016年 3月期	
売上高	7,483	8,945	1,462
営業利益	476	726	250
経常利益	525	665	140
税引前利益	542	624	82
当期純利益	444	515	71
売上高営業利益率	6.4%	8.1%	1.7pts
EPS (円)	74.3	86.3	12.0
為替レート (円)			
USドル	104	122	18
ユーロ	138	136	(2)

33

グローバル販売台数及び連結出荷台数



(千台)	第2四半期		対前年 増/(減)
	2015年 3月期	2016年 3月期	
グローバル販売台数			
日本	50	63	13
北米	116	117	1
欧州	58	70	12
中国	50	52	2
その他市場	76	92	16
合計	350	394	44
連結出荷台数			
日本	49	60	11
北米	110	110	0
欧州	63	71	8
その他市場	79	97	18
合計	301	338	37

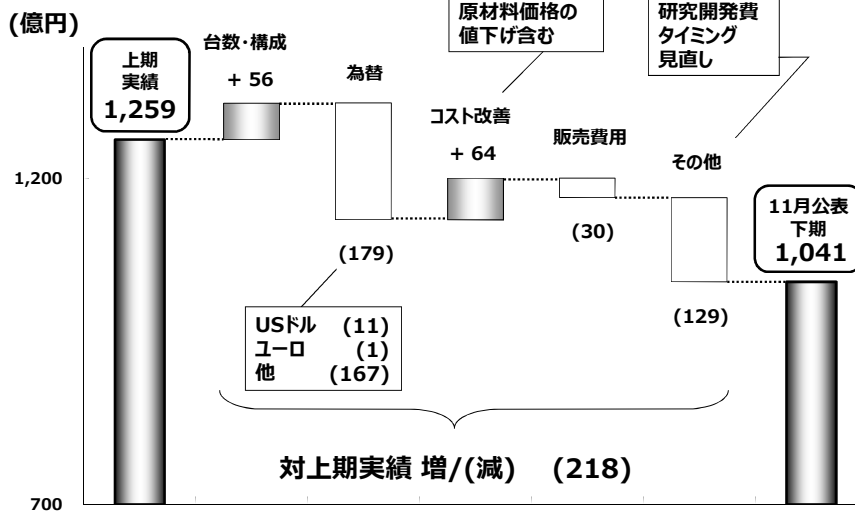
34

営業利益変動



2016年3月期下期見通し 対上期実績比較

- 改善
- (悪化)



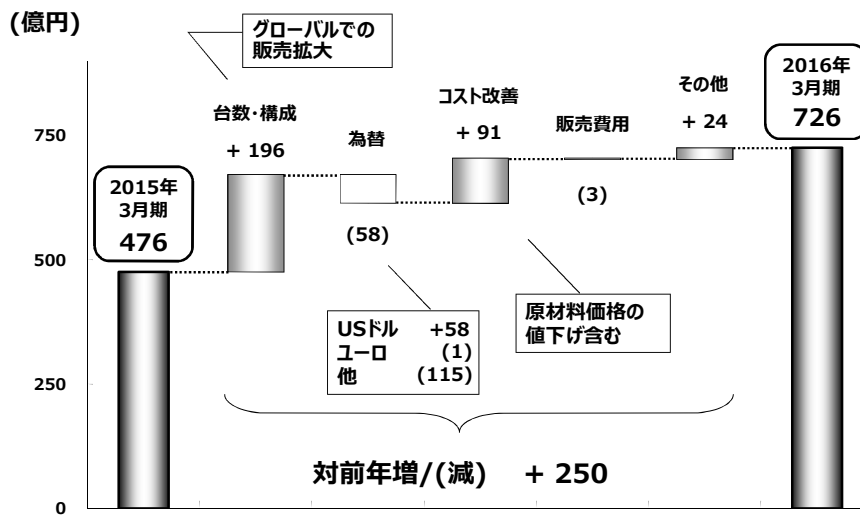
35

営業利益変動



2016年3月期 第2四半期 対前年比較

- 改善
- (悪化)



36

グローバル販売台数及び連結出荷台数

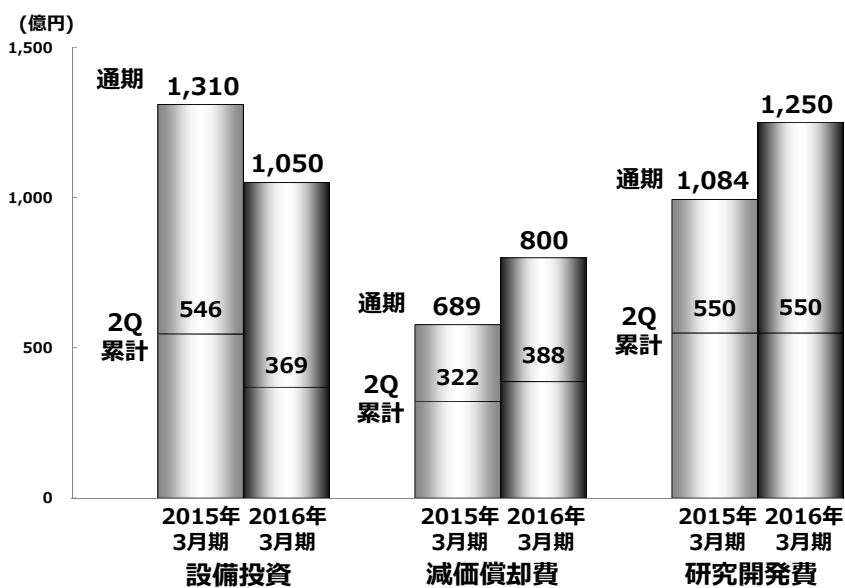


(千台)	2016年3月期			対前年 増/(減)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
グローバル販売台数						
日本	120	114	234	30	(21)	9
北米	233	214	447	7	15	22
欧州	124	131	255	10	16	26
中国	109	111	220	15	(10)	5
その他市場	178	181	359	33	23	56
合計	764	751	1,515	95	23	118
連結出荷台数						
日本	118	111	229	28	(19)	9
北米	225	225	450	4	11	15
欧州	125	135	260	10	24	34
その他市場	178	193	371	27	29	56
合計	646	664	1,310	69	45	114

※ 2016年3月期 下期・通期は見通し

37

主要データ



※ 2016年3月期 通期は見通し

38

将来見通しに関する注意事項



このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。